

《令和七年度暗唱③》

蜘蛛の糸

芥川龍之介



或日の事でございます。

御釈迦様は 極樂の蓮池の

ふちを、独りで ぶらぶら御歩きに

なっぺいらっしやいました。

池の中に 咲いている 蓮の花は、

みんな 玉のように まっ白で、

そのまん中にある 金色の蕊からは、

何ともいえない 好い匂が、 絶間なく

あたりへ あふれております。

極樂は 丁度 朝なのでございましょう。